

令和2年度決算のあらまし

令和2年度決算が、令和3年6月28日に開催された組合会で承認されましたので、その概要をお知らせします。

1 共通事項

(1) 団体数及び組合員数

【団体数】： 31団体

【組合員数】

- ◇ 組合員数は、前年度より1,248人増加となりました。
- ◇ 被扶養者数は、前年度より16人減少となりました。
- ◇ 1人当たりの年間掛金額は994,131円となり、うち68%は長期給付(年金)の財源となっています。

(単位:人、円)

区 分	令和2年度	令和元年度	比較増(△)減	
組合員の数	127,038 人	125,794 人	1,244 人	
被扶養者の数	91,142 人	91,158 人	△ 16 人	
組合員 1人当たりの 掛金額	短期給付	305,192 円	311,137 円	△ 5,945 円
	長期給付	676,728 円	687,279 円	△ 10,551 円
	福祉事業	12,235 円	12,461 円	△ 226 円
	合計	994,155 円	1,010,877 円	△ 16,722 円

(2) 決算総括

令和2年度決算を実質収支で見ると、

- ◇ 収入は、5,044億円、支出は5,145億円となりました。
- ◇ その結果、収支差引は101億円のマイナスとなりました。

【令和2年度の当共済組合の収支】

(単位:百万円)

区 分	令和2年度	令和元年度	比較増(△)減
収 入	504,389	485,321	19,068
支 出	514,519	506,234	8,285
収 支 差 引	△ 10,130	△ 20,913	10,783

2 短期給付

短期給付は、医療保険及び介護保険に係る事業を行っています。

- ◇ 令和2年度は、財源率を据置きました。
- ◇ 医療等給付支出は新型コロナウイルス感染症の影響による受診控え等により減少しましたが、介護納付金を含めた国の高齢者医療制度への拠出金がそれ以上に増加したため、支出が増加し、収支差額は元年度より減少しました。
- ◇ 支出の内訳では、国の高齢者医療制度への拠出金(375億円)が、組合員等に対する医療等給付支出(348億円)よりも上回っています。

【短期給付の決算額】

(単位:百万円)

区 分	令和2年度	令和元年度	比較増(△)減
収 入	83,331	83,944	△ 613
支 出	78,814	77,739	1,075
収 支 差 引	4,517	6,205	△ 1,688

- ◇ 組合員1人当たりの医療費は、令和元年度に比して、16,400円(7.0%)減少しました。

【組合員1人当たりの医療費】

(単位:円、%)

区 分	令和2年度	令和元年度	比較増(△)減	増減率
医療費	217,600	234,000	△16,400	△7.0%

3 長期給付

長期給付は、年金に係る事業を行っています。

- ◇ 年金給付による支出と掛金・負担金による収入は、ほぼ均衡していますが、国の各年金勘定への拠出金(厚生年金拠出金・基礎年金拠出金)が、同勘定から受け取る交付金(厚生年金交付金・基礎年金交付金)を大幅に上回っていること等から、最終的な収支差引は156億円のマイナスとなりました。
- ◇ 年金受給者数が増加する一方で、財政を支える組合員数は平成19年度以降、年金受給者数を下回り続けています。

【長期給付の決算額】

(単位:百万円)

区 分	令和2年度	令和元年度	比較増(△)減
収 入	408,167	389,221	18,946
支 出	423,735	416,950	6,785
収 支 差 引	△ 15,568	△ 27,729	12,161

【年金受給者数・組合員数の推移】

(単位:人)

区 分	平成17年度	平成20年度	平成23年度	平成26年度	平成29年度	令和2年度
年金受給者数	122,793	134,809	147,975	154,699	158,931	159,615
長期組合員数	136,617	127,561	122,891	120,838	122,634	125,887

4 福祉事業

福祉事業は、組合員等の健康の保持増進に必要な事業や、保健・保養などの事業を行っています。

【福祉事業に係る各事業の決算額】

(単位:百万円)

区 分	保健事業	保養事業	会館事業	貸付事業	計
収 入	4,014	156	1,425	236	5,831
支 出	3,543	157	1,161	210	5,071
収支差引	471	△ 1	264	26	760

(1) 保健事業

- ◇ 組合員等の健康管理や健康の保持増進を目的として、節目ドック(45歳・50歳)や女性ドックキャンペーンなどの「人間ドック利用助成」の実施のほか、運動習慣づくり支援としての委託体育施設利用、夏・冬季等の委託保健施設の借上げ、シティ・ホール診療所の運営等を実施しました。
(委託保健施設の借上げについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、夏季施設を中止し、冬季施設は組合員に対し、利用自粛を要請しました。)

【人間ドックの健診実績】 (単位:人)

区 分	令和2年度	令和元年度	比較増(△)減
人間ドック	13,936	16,538	△ 2,602

【委託保健施設稼働実績】 (単位:箇所、人、%)

区 分	令和2年度	令和元年度	比較増(△)減
施設数	419	804	△ 385
利用人員	11,301	87,943	△ 76,642
稼働率	29.3%	70.7%	△41.4%

【健康づくり支援】 (単位:人)

区 分	令和2年度	令和元年度	比較増(△)減
委託体育施設	125,735	221,863	△ 96,128

【シティ・ホール診療所】 (単位:人)

区 分	令和2年度	令和元年度	比較増(△)減
延べ患者数	21,868	32,872	△ 11,004

【特定健診・特定保健指導の実施状況】 (単位:人)

区 分	令和2年度	令和元年度	比較増(△)減
特定健診 (被扶養者等)	5,055	5,492	△ 437
特定保健指導	5,269	6,127	△ 858

(2) 宿泊(保養・会館)事業

- ◇ 箱根路開雲(保養事業)は緊急事態宣言を踏まえた臨時休業(4月8日～6月18日、1月9日～3月21日)により利用者数が伸び悩みました(令和元年度は大規模改修により4月1日～8月31日まで休業)。
- ◇ アジュール竹芝(会館事業)においても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による健診センターの休止(4月10日～5月31日)等、各部門とも前年度実績を下回りました。

【箱根路開雲利用実績】 (単位:人)

区 分	令和2年度	令和元年度	比 較 増(△)減
箱根路開雲	9,312	8,938	374

(延べ利用者数)

【アジュール竹芝利用実績】 (単位:人)

区 分	令和2年度	令和元年度	比 較 増(△)減
宿 泊	38,403	54,271	△ 15,868
婚 礼	270 (9組)	2,548 (60組)	△ 2,278 (△ 51組)
人間ドック (日帰り)	8,345	11,021	△ 2,676
特定健診・ 特定保健 指導	508	677	△ 169

(注) 宿泊は年間利用者数、婚礼は延べ利用者数、()は組数、人間ドック(日帰り)・特定健診・特定保健指導は年間利用者数

(3) 貸付事業

- ◇ 貸付事業は、平成25年度末で新規貸付を終了しました。

【貸付残高の状況】 (単位:百万円)

区 分	令和2年度	令和元年度	比 較 増(△)減
貸付残高	13,977	17,840	△ 3,863

【問合せ先】
管理部財務課計理担当
☎03(5320)7311